

2021年1月1日以降の実績

1号機

- ・1号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という。)循環冷却系においては、「1号機使用済燃料プール冷却浄化系電動機取替工事及び同関連除却工事」及び「1F電気設備点検手入工事(2020)」に伴い、1月12日午前0時から2月5日午後11時までの期間、当該設備の運転を停止予定。1月8日午前5時現在のSFP水温度は、20.5℃であり、放熱を考慮し、停止期間終了時点で約37.7℃と評価。

2号機

現時点での特記事項なし

3号機

現時点での特記事項なし

4号機

現時点での特記事項なし

5号機

現時点での特記事項なし

6号機

現時点での特記事項なし

水処理装置および貯蔵設備の状況

【タンクパトロール結果】

現時点での特記事項なし

【H4、H6エアタンクにおける水漏れに関するサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【地下貯水槽に関する水のサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【セシウム除去設備】

現時点での特記事項なし

【多核種除去設備(ALPS)】

現時点での特記事項なし

【増設多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【高性能多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【淡水化装置】

1月10日、午前11時5分、設備休止中の淡水化装置1周辺で、協力企業作業員が水たまりを発見した。

状況は以下のとおり。

- ・漏えい箇所
 - ①急速ろ過装置(A)入口流量計
 - ②急速ろ過装置(B)入口流量計
 - ③ROモジュール出口配管フランジ部
 - ④ROドレン出口逆止弁フランジ部
- ・漏えい範囲 漏えい範囲は全体で、約30m×3m×深さ3cm
- ・拡大防止処置
 - ①流量計前後の弁を「閉」した。
 - ②流量計前後の弁を「閉」した。
 - ③袋にて養生を実施した。
 - ④袋にて養生を実施した。
- ・漏えい継続の有無 上記①～④:すべて漏えい停止している。
- ・外部への影響 堰内にとどまっている。

今後、準備が整い次第、以下の処置を実施する予定。

- ・堰内水の採取・分析
- ・堰内水の回収

【RO濃縮水処理設備】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮廃液タンク水処理設備】

現時点での特記事項なし

【その他】

現時点での特記事項なし

サブドレン他水処理施設

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

- ・一時貯水タンクJ 1月1日午前10時42分～午後2時31分。排水量569m³
- ・一時貯水タンクK 1月3日午前11時18分～午後2時57分。排水量543m³
- ・一時貯水タンクL 1月5日午前10時46分～午後2時16分。排水量519m³
- ・一時貯水タンクA 1月7日午前10時5分～午後1時21分。排水量483m³

・一時貯水タンク C 1月9日午前11時16分～午後2時20分。排水量454m³

<特記事項>

現時点での特記事項なし

地下水バイパス

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

・一時貯留タンクグループ3 1月5日午前10時2分～午後5時8分。排水量1,938m³

<特記事項>

現時点での特記事項なし

【1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項なし

【1号機放水路のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項無し

その他

【陸側遮水壁】

現時点での特記事項なし

【雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【窒素封入設備】

現時点での特記事項なし

【その他設備の不具合・トラブル】

現時点での特記事項なし

【けが人・体調不良者等】

現時点での特記事項なし

【その他】

1月8日午前11時24分、旧野鳥の森周辺の電気絶縁油タンクの油面計付近から油が漏えいしていることを協力企業作業員が発見した。

状況は以下のとおり。

- ・漏えい範囲 約1m×2m×1mm
- ・拡大防止処置 堰内に留まっている
- ・漏えい継続の有無 継続中
- ・双葉消防本部への連絡時刻 午前11時43分(119番通報)

漏えい個所は、電気絶縁油タンクの油面計付近であり、当該油面計の元弁を閉止し、漏えいの停止を確認した。

堰内に漏えいした電気絶縁油については、今後回収し適切に処理を行う。

なお、本件について、午後0時11分に富岡消防署より「危険物漏えい事象」と判断された。